

地域再生計画（地方創生港整備推進交付金）中間評価調査

都道府県名	長崎県	事業実施主体	長崎県、長崎市	地域再生計画名	「海洋・観光都市」長崎の広域観光を支える港づくり計画
計画期間	令和3年度～令和7年度	評価責任者	長崎県土木部港湾課長、水産部漁港漁場課長、長崎市		

①地域再生計画に記載した 数値目標の実現状況	指標		基準年度	中間目標値	最終目標値	中間目標値の実現状況に関する評価							
	指標 1	長崎市の観光客数の増加	691万人	R1	790万人	R5	483万人	807万人	R7	×	指標 総数	達成 数	中間目標値を307万人下回っているが、R2～R3の新型コロナウイルス感染拡大の影響による利用者数低迷から復調傾向にあり、事業進捗を図ることにより最終目標達成を目指していく。
	指標 2	世界遺産構成資産来訪者数の増加	162万人	H30	177万人	R5	124万人	180万人	R7	×	2	0	中間目標値を53万人下回っているが、R2～R3の新型コロナウイルス感染拡大の影響による利用者数低迷から復調傾向にあり、事業進捗を図ることにより最終目標達成を目指していく。
②事業の進捗状況	事業名		整備量（その他の事業では取組内容）			事業の進捗状況に関する評価							
			計画	中間年度 (R5)	最終実績 見込み								
特別措置を適用して行う 事業	港湾施設（高島港） 浮桟橋 浮桟橋(2) 緑地	1基 1基 6,000㎡	0.16基 0基 0㎡	1基 1基 6,000㎡	当初計画に対し、整備量から見る進捗率は、9%と遅れが伺えるため、計画期間の延長を行い、引き続き、計画に則した整備を目指していく。								
	港湾施設（池島港） 北防波堤 南防波堤 浮桟橋 駐車場	60m 100m 1基 2,200㎡	0m 39m 0基 0㎡	60m 100m 1基 2,200㎡	当初計画に対し、整備量から見る進捗率は、29%と遅れが伺えるため、計画期間の延長を行い、引き続き、計画に則した整備を目指していく。								
	港湾施設（伊王島港） 浮桟橋 浮桟橋(2) 物揚場（-4m） 物揚場（-1m） 緑地	1基 1基 90m 63m 2,550㎡	0.48基 0基 0m 0m 2,550㎡	1基 1基 90m 63m 2,550㎡	概ね計画通りに整備進捗が図られている。今後も引き続き、計画に則した整備を目指していく。								
	漁港施設（野々串漁港） A物揚場 B物揚場 C物揚場	177m 26m 100m	177m 26m 100m	177m 26m 100m	進捗率100% 令和3年度完了								
	漁港施設（たちばな漁港） 戸石岸壁 戸石物揚場 臼ノ浦岸壁 臼ノ浦物揚場	20m 178m 53m 68m	20m 178m 53m 68m	20m 178m 53m 68m	進捗率100% 令和3年度完了								
その他の事業	明治日本の産業革命遺産	世界遺産や資産を活用した地域活性化	明治日本の産業遺産の世界遺産登録による観光振興に向けた取り組みを行っている。										
	ながさきサンセットロード	地域のイベントの実施	長崎県西部の美しい海沿いの道路をメインルートに夕日や教会、橋等の地域資源を活用した取り組み関係行政や地域の方と協働しながら、沿道景観の保全・整備や様々な活動に取り組んでいる。										
	UMIBOUZ in 高島	高島の海水浴場を活用したイベント	海水と砂浜が美しい高島海水浴場でのイベント、企画による地域活性化の取り組み毎年7月中旬から8月中旬にかけて毎週土曜日に様々な企画のイベントを開催している。										
	戸石朝市はも・かに祭り	地域の特産を活用したイベント	「はも・かに祭り」「とらふぐ・かき祭り」の朝市の開催による地域の賑わいの創出戸石フレッシュ朝市でのオープニングイベントでは、新鮮な魚介類の販売や抽選会などを実施し、多くの来客者で賑わいを創出している。										
	池島炭鉱航内探検ツアー	池島の資産を活用した地域活性化	九州最後の炭鉱の島「池島」でトロッコ乗車炭鉱探検による地域資産を活かしたツアーの開催										
計画外で独自に実施した 事業													
③評価方法	まち・ひと・しごと創生対策懇話会を開催し、評価・検討等を行う予定としている。												
④中間評価の公表方法	長崎県のホームページに掲載												
⑤計画全体の総合評価	本地域再生整備計画では、港整備交付金を活用した施設の整備により、高島港、伊王島港、野々串漁港、たちばな漁港での観光客や港湾就労者の安全性向上、及び池島港を訪問する観光客や定期船の安全航行環境の確保を図ることを目的としている。 指標については、新型コロナウイルスの感染拡大等の影響により中間目標を達成していない状況ではあるが、新型コロナウイルスが5類感染症に移行され、来訪者が増加傾向にあることから、引き続き地域再生計画の事業展開を図っていく必要がある。 事業進捗に遅れが生じていることから計画期間2年の延長が必要である。また、資材単価及び労務単価の上昇により工事費が増となっている事業があるため、事業費の増額が必要である。												
⑥今後の方針等	中間評価結果の反映状況					有りの場合その具体的内容							
	地域再生計画の見直し（有・無）					事業進捗に遅れが生じていることから計画期間及び事業期間を2年延伸する。また、資機材や労務単価の上昇に伴う事業費の見直しが必要である。							
	令和7年度予算要望額への反映（有・無） 有りの場合の増減額 千円												
⑦今後の方針等に対する 対応	●事業期間延長計画の変更の認定申請を予定 ・高島港の浮桟橋(改良)、浮桟橋(改良)(2)、緑地(改良)、池島港の北防波堤、南防波堤(改良)、浮桟橋(改良)、駐車場(改良)、伊王島港の物揚場(-1m)(改良)の事業期間がR9dまで要することから計画期間を2年間延長する。 ●資機材や労務単価の上昇に伴う事業費の見直し ・総事業費 現計画事業費1,680,400千円⇒見直し後2,519,800千円 [839,400千円（うち交付金585,483千円）増]												